

令和2年度“オール近大”新型コロナウイルス感染症 対策支援プロジェクト研究報告書

企画題目	アフターコロナのライフスタイル支援の提案と検証による社会支援
研究者所属・氏名	研究代表者：安 起瑩 共同研究者：本村 元造、上田 順康、関口 千佳、金 相俊

1. 研究、開発・改良、提案目的・内容

アフターコロナのライフスタイルに役立つ感染防止アイテムの開発提案と検証、そしてオンライン芸術文化活動の提案と試みを行います。

研究内容は、大きく「文化活動」、「開発・提案」、「調査・検証」に分けられます。

1、文化活動：アートを活かした試み 2、開発・提案：ウイルス感染防止アイテムデザイン提案と実用化 3、調査・検証

2. 研究、開発・改良、提案経過及び成果

・ウイルス感染防止アイテムデザイン提案：本ゼミ課題として「コロナ感染防止のためのマスクデザインとピクトグラム（ロゴアイコン）」の提案デザイン（ゼミ2年生18人のデザイン案）を行いました。また、これはオープンキャンパスを活かしてアカデミックシアターで展示とアンケートなどを行う予定でしたが、コロナの影響で実施できず延期の状態です。今年度のオープンキャンパスで実施予定です。

・「KINpica（近ピカ）」消毒液スプレーの商品名、ロゴ、ラベルデザイン：奄美黒糖焼酎「れんと」を使い、近大付属農場産のかんきつ類で香り付けした消毒用高濃度エタノールの消毒スプレーのデザイン。社会連携推進センターの依頼を受け、コロナプロジェクトと教育（授業）の一環として取り組み実用化に協力しました。

3. 本研究と関連した今後の研究、開発・改良、提案計画

・ウイルス感染防止アイテムデザイン提案：
コロナ感染防止のための「マスクデザイン」と「近大ピクトグラム（ロゴアイコン）」デザイン案（ゼミ2年生18人の案）の展示とアンケートの実施と実用化を目指します。

・大学（社会連携推進センター）より本プロジェクト関連のイベントやデザイン依頼がある場合は協力します。

4. 研究成果の発表等

発表機関名	種類（著書・雑誌・口頭）	発表年月日（予定を含む）

5. 開発・改良、提案課題の成果発表等

「KINpica（近ピカ）」消毒液スプレー商品の各種メディアで紹介されました。